

2023年7月18日

## 最近の長野県経済の動向 (月例調査)

### 概要

全国景気*	緩やかに回復している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
4月の生産動向	生産は足踏みがみられる
5月の個人消費	乗用車新車販売は5カ月連続で前年を上回る
5月の公共投資	公共工事保証請負額は4カ月ぶりに前年を下回る
5月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を下回る
5月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月連続で前月を下回る
今後は、実質賃金の動向が個人消費にどう影響するかに注視する必要がある	

※内閣府「月例経済報告(2023年6月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

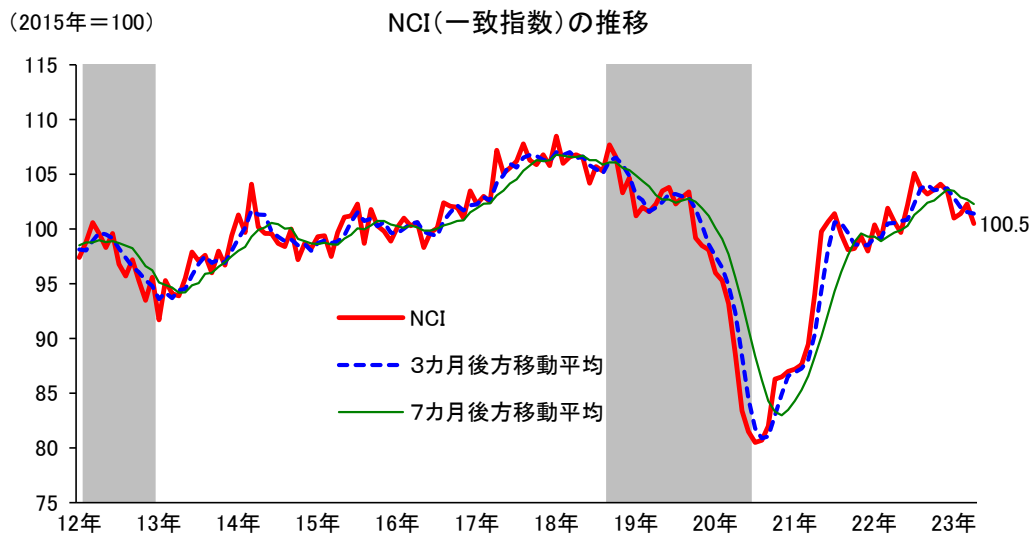
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501

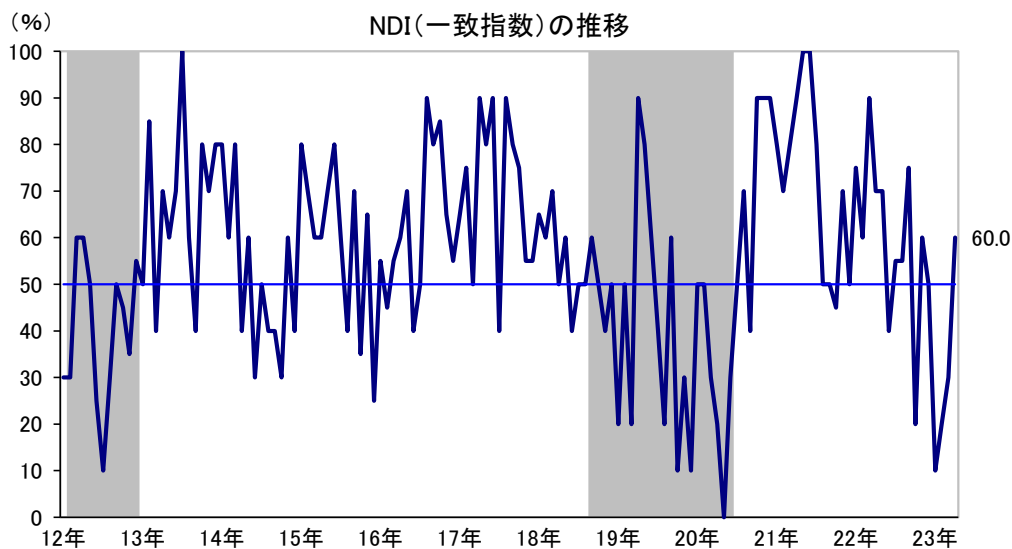


## 景気動向指数

- ・4月のNCI(一致指数)は、100.5と前月と比較し△1.8ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.2ポイントと4カ月連続で低下し、7カ月後方移動平均は同△0.4ポイントと4カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、足踏みを示している。
- ・NDI(一致指数)は、60.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を5カ月ぶりに上回った。



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す  
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

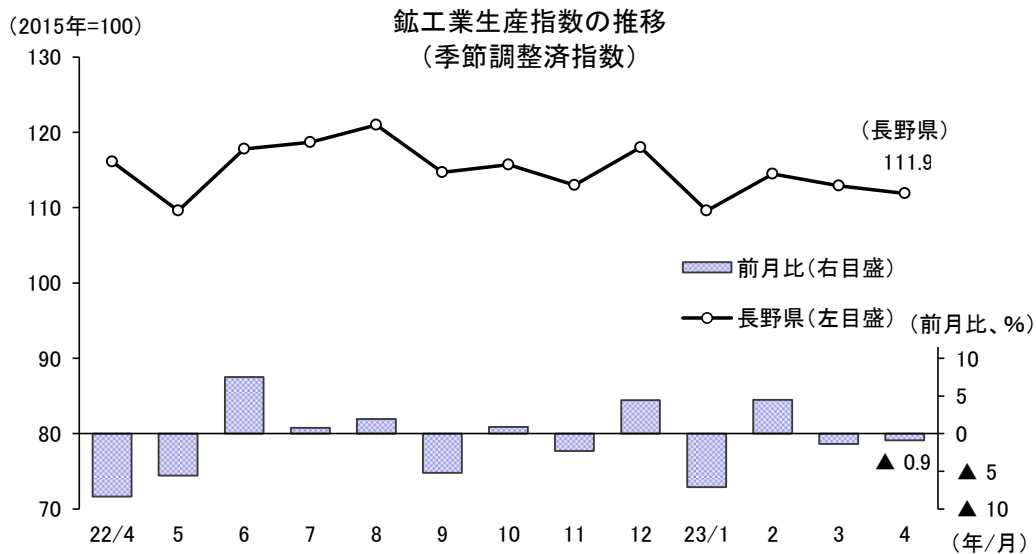
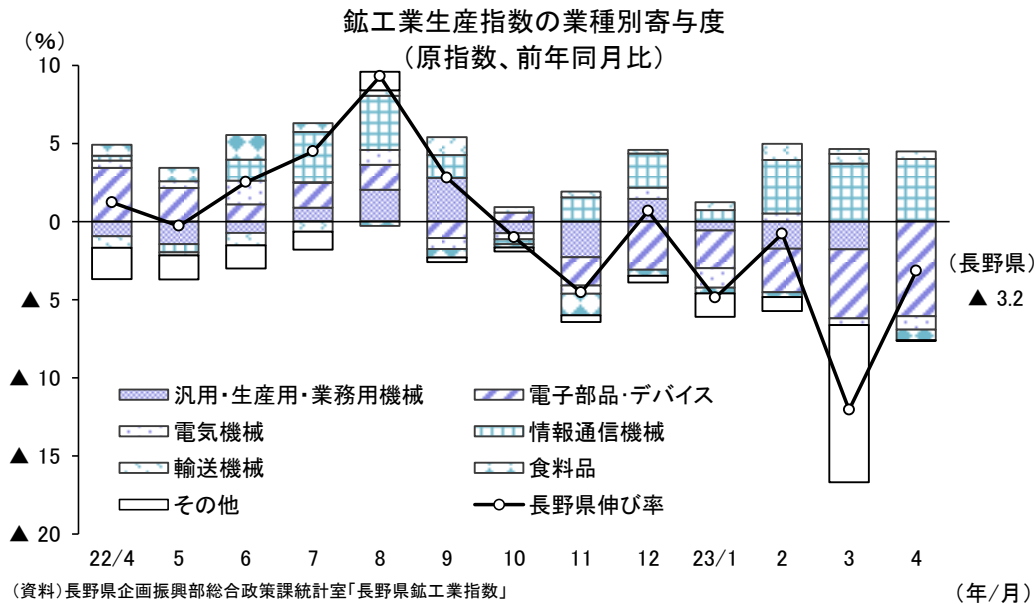


(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す  
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

# 生産

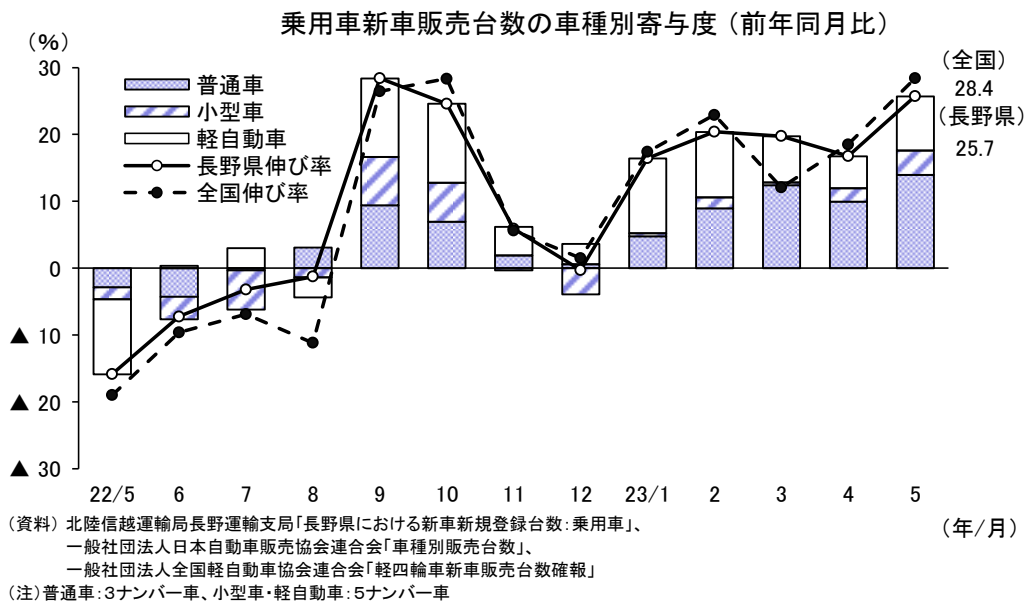
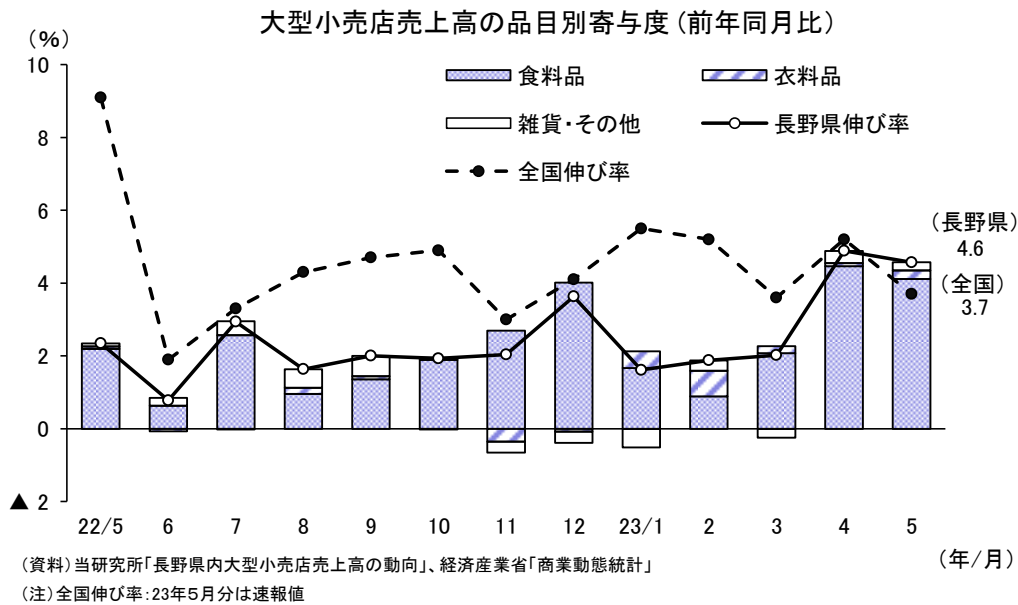
## 生産は足踏みがみられる

- ・4月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比 $\Delta$ 3.2%、季節調整済指数が前月比 $\Delta$ 0.9%となった。
- ・原指数は4カ月連続で前年を下回り、季節調整済指数も2カ月連続で前月を下回った。内需は堅調に推移しているものの、外需の縮小がみられ、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「汎用・生産用・業務用機械」、「情報通信機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「電気機械」、「食料品」などが前年を下回った。



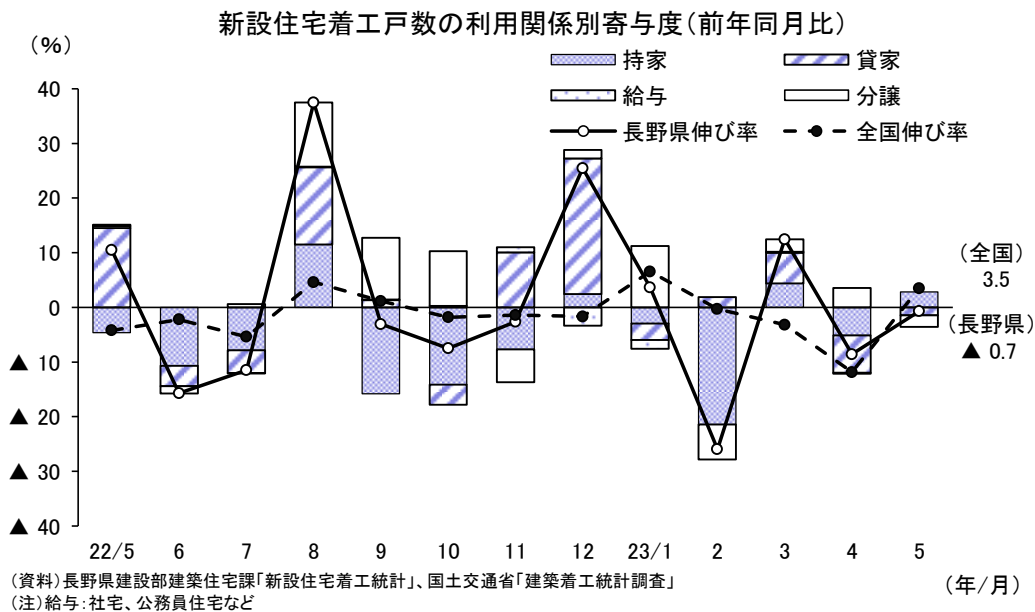
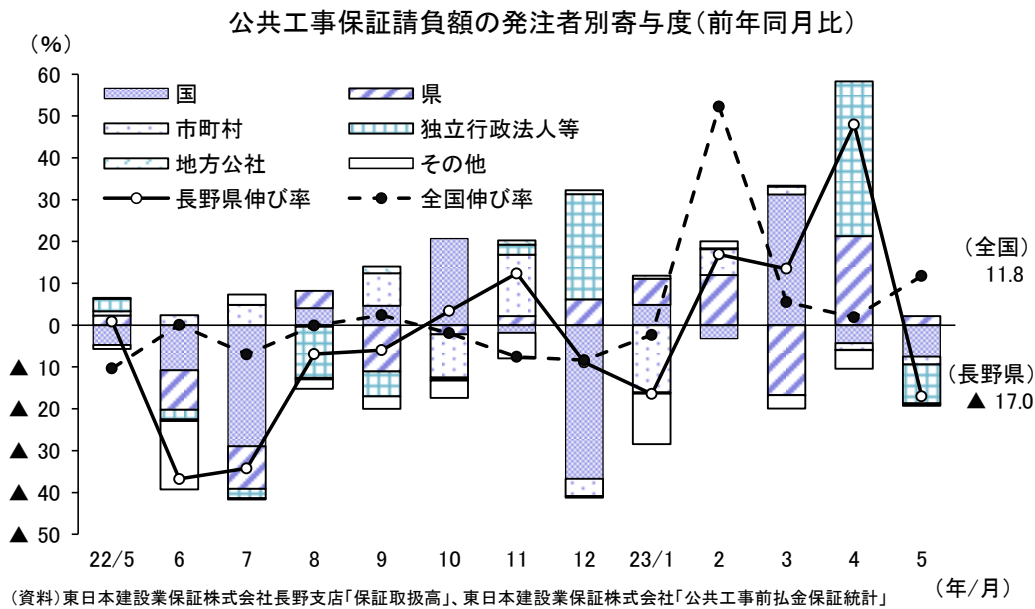
## 乗用車新車販売は5カ月連続で前年を上回る

- 5月の大型小売店売上高は、前年同月比+4.6%（売場面積調整前）となり、20カ月連続で前年を上回った。食料品は、総菜などが堅調だったほか販売価格の上昇などもあり、同+4.8%となった。衣料品は、気温の上昇などから夏物の出足もよく、同+4.8%となった。雑貨・その他は、身の回り品や化粧品などの売り上げが増加し、同+2.5%となった。
- 5月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが徐々に改善し、前年同月比+25.7%と5カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、軽自動車は同+18.1%と9カ月連続で、普通車は同+45.6%と10カ月連続で、小型車は同+14.7%と5カ月連続で前年を上回った。



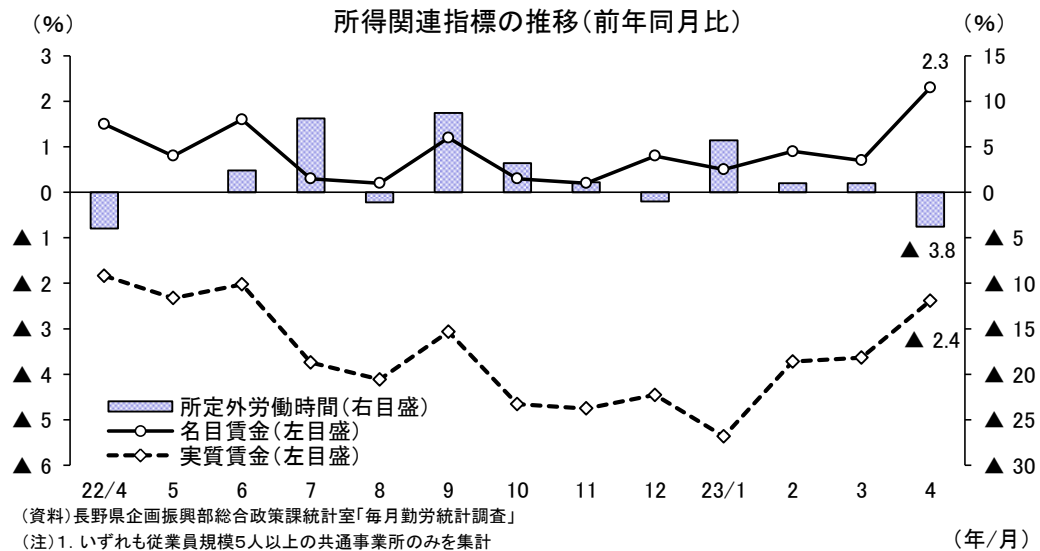
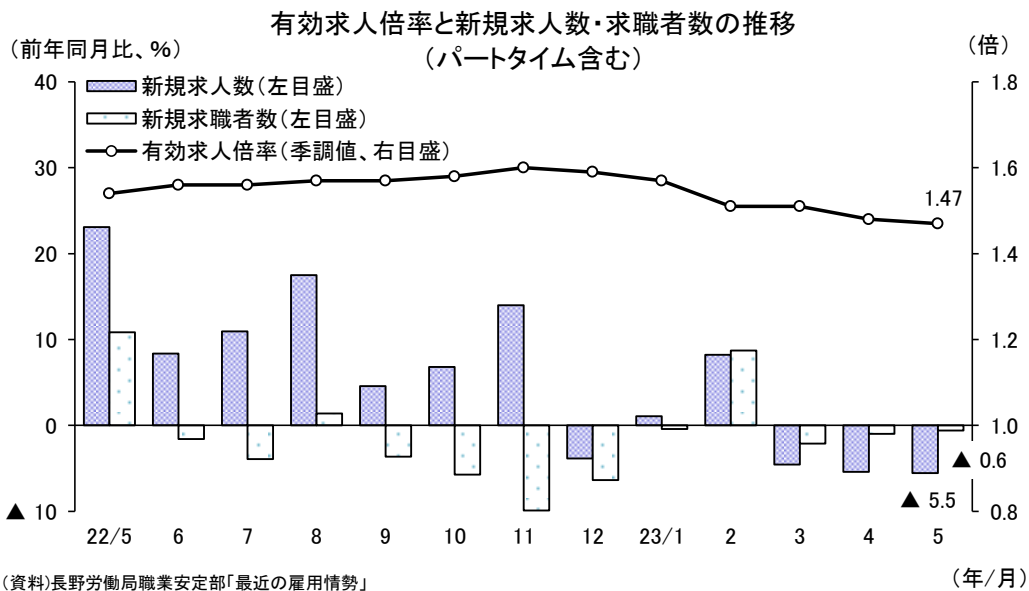
## 公共工事保証請負額は4カ月ぶりに前年を下回る

- 5月の公共工事保証請負額は、前年同月比△17.0%の317億2,800万円となり、4カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、県が同+8.6%と増加したものの、国が同△47.9%、市町村が同△11.2%、独立行政法人等が同△23.5%、地方公社が同△70.5%、その他が同△23.9%と減少した。
- 5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△0.7%の973戸と2カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家が同+5.3%と増加したものの、貸家が同△5.1%、分譲が同△12.4%と減少した。



## 有効求人倍率は2カ月連続で前月を下回る

- 5月の有効求人倍率は、前月比△0.01ポイントの1.47倍と、2カ月連続で前月を下回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比△5.5%となり、3カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△5.5%、パートは同△6.3%となった。主要産業別では、生活関連サービス業・娯楽業が同+13.8%、不動産業・物品賃貸業が同+7.5%と前年を上回ったものの、建設業が同△15.6%、製造業が同△14.8%、宿泊業・飲食サービス業が同△5.7%などと、多くの産業が前年を下回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比△0.6%と3カ月連続で前年を下回った。
- 4月の名目賃金は前年同月比+2.3%と24カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△2.4%と16カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同△3.8%と、4カ月ぶりに前年を下回った。



(資料)長野県企画振興部総合政策課統計室「毎月勤労統計調査」

(注)1. いずれも従業員規模5人以上の共通事業所のみを集計

2. 名目賃金の前年同月比は、きまって支給する給与の実額比較による

3. 実質賃金の前年同月比は、名目賃金と長野市の消費者物価指数(持家の帰属家賃除く総合)から当研究所が計算

## 県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

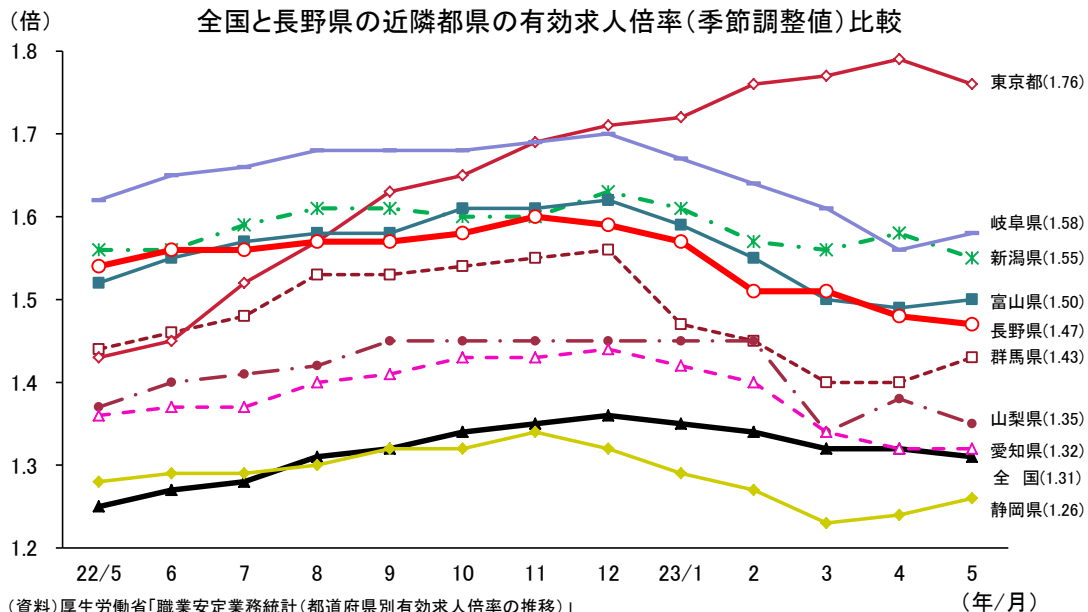
### 有効求人倍率は32カ月連続で全国を上回る

- ・5月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.07ポイントの1.31倍、東信が同△0.11ポイントの1.33倍、中信が同+0.06ポイントの1.42倍、南信が同△0.10ポイントの1.35倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、木曾福島が1.48倍と最も高く、次いで飯田が1.47倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は32カ月連続で全国を上回り、順位は前月より1つ上げ11位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年5月)

地域	北 信(1.31) (前年同月比▲0.07)				東 信(1.33) (前年同月比▲0.11)		中 信(1.42) (前年同月比0.06)			南 信(1.35) (前年同月比▲0.10)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.36	1.16	1.46	1.27	1.28	1.38	1.42	1.48	1.39	1.47	1.26	1.34
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.03	▲ 0.24	0.20	▲ 0.14	0.00	▲ 0.24	0.03	0.13	0.25	0.09	▲ 0.21	▲ 0.13
うち常用	1.23	1.13	1.43	1.16	1.20	1.33	1.23	1.36	1.25	1.40	1.12	1.27
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.02	▲ 0.21	0.20	▲ 0.14	0.01	▲ 0.23	0.07	0.07	0.13	0.09	▲ 0.15	▲ 0.13

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」  
(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」  
(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む  
2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県